

# T.G. Press

Tokyo Guarantee Press



Special  
Feature

巻  
頭

◆ 株式会社さとゆめ

## かたちになるまで伴走して 本当の意味での地域再生を実現

何から始める？ どう取り組む？  
企業防災のススメ

職場で食べたい  
おやつ&ごはん

TOKYO Startup History  
株式会社OSOTO

T.G.Info  
ステップアップセミナー創業編開催のお知らせ

vol.57 | 2024  
Autumn



# “何のために会社があるのか” 原点回帰で組織が一枚岩に



嶋田 俊平  
Shunpei Shimada

京都大学大学院農学研究科森林科学専攻修了。環境系シンクタンク勤務を経て2012年に株式会社さとゆめを設立。これまで全国各地の300を超える地方創生プロジェクトに伴走。

## Company Profile

### 株式会社さとゆめ

創業：2012年  
資本金：1億9,610万円（資本準備金含む）  
代表者名：嶋田俊平  
事業内容：地域活性化に関わるコンサルティング・地域活性化に関わる事業プロデュース  
所在地：東京都千代田区九段南3-4-5 ビラ・アベックス市ヶ谷801  
URL：https://satoyume.com/

ヒットの最大の障壁は？

## 社員が将来を不安視し、組織崩壊寸前に……

人口減少時代に入り、高齢化や過疎化の進行に悩まされる地方自治体は後を絶たない。そんな中、全国各地で地域再生を手掛け、実績を上げ続けるコンサルティング会社がある。その独自のノウハウと熱い思いが成し遂げる、地方創生の舞台裏を取材した。

取材・文／國天俊治 写真／清水亮一

### 地域とともに伴走し 本場に役立つ地域支援を

地方創生——政府によってその御旗が掲げられてからすでに10年が経とうとしている。しかし現実としてその成功例はまだ少ない。自らのふるさとである町や村が消滅の危機に瀕している人もいるだろう。そんな現状に挑み、独自のコンサルティングで地域再生を手助けするのが、株式会社さとゆめだ。その最大の特徴は「伴走型コンサルティング」にあると、創業者の嶋田さんは話す。「一般的なコンサルティング会社は、計画や戦略策定など上流工程のみを担当しますが、私たちはその先にあるマーケティング戦略や商品開発、販路開拓、施設運営まで、一貫通貫で支援しています」

論より証拠で、たとえば深刻な過疎高齢化に直面していた山梨県小菅村の支援に入ると、年間の観光客数が約8万人から約18万人に増加。22世帯75人の子育て世帯が移住して小学校の児童数が1・5倍となり、さ

らに村から新たなベンチャー企業が5社誕生した。こうした成功事例がさとゆめの実力をよく表している。

コンサルタントとしての嶋田さんの原風景は、日本語教師であった父の仕事で赴き、幼少期を過ごしたタイの田舎町にあるという。

「少し郊外へ出ると赤茶けた大地が広がり、砂ぼこりが舞っていました。もとは90%が熱帯雨林に覆われていたのに、日本を含む先進国への輸出のために伐採が行われ荒廃した、と知ったのは高校生になり日本に戻ったときでした。自分も加害者のように思え、何かできることはないかと考えるようになったのです」

大学では森林科学を学び、実際に山仕事も行ったが、そんな中で問題の本質は社会構造にあると気づいた。「日本には豊かな森があるのに輸入材が必要なのは、林業がうまくいっていないせいです。そして林業が衰退するのは地域にそれを支える力が不足しているからで、そこから立て直さないと解決しないと思いました」大学院卒業後の進路には、環境系

シンクタンクを選択し、そこで地域資源を活用したコミュニティ・ビジネスの事業計画立案など、地方創生に関わるコンサルティングに従事するようになった。しかしそこで、自らの業務に限界を感じたという。

「いくら計画を作っても、それを渡すだけではほとんど実行されず、何も変わらないことがよくありました」本場に役立つ支援とは何か……考え抜いた結果行き着いたのが、伴走型コンサルティングだった。

### “ふるさとの夢をかたちに” 会社の使命を言語化

独立後、前職で培ったつながりもあってすぐに依頼が舞い込み、事業は順調に成長した。それと併せ、事業の幅も自然に広がっていった。

大きな転機となったのが、小菅村に宿泊施設を作るプロジェクトだった。100軒以上の空き家を活用し、村全体をひとつのホテルとするアイデアだったが、その運営事業者がなかなか見つからず、自社で手掛ける決断をした。嶋田さんに迷いはなかったが、社員たちは違った。

ある日、新入社員から告げられた。「表面はきらきらしていたのに、入ってみたら大変な会社でした。さとゆめ、このままだと分裂しますよ」実はそのとき、社内には嶋田さんの決断に不安を抱える社員が多かった。ホテル事業など社長の道楽じゃないか。借金して失敗したらどうするのか。そんな声が渦巻いていた。「組織崩壊の一手手前でした。思えばただ自らの理念を追い続けるばかり

### 伴走型コンサルティング 「さとゆめ」とは？

地方創生支援に特化したコンサルティング会社。計画や戦略策定に留まらず、マーケティング、商品開発、販路開拓までワンストップで行う。現在も50以上の地方自治体に3年以上に渡って伴走している。自社でホテル事業や人材育成事業なども手掛け、多角的なアプローチで地域支援を展開している。



さとゆめが企画・運営する、東京都の自治体の魅力を伝えるアンテナショップ「TOKYO GIFTS 62」。



何から始める？ どう取り組む？

## 企業防災のススメ

第2回テーマ

### 会社で被災する前に

東日本大震災では、交通機関がストップし、首都圏に大混乱をもたらしました。この経験をふまえて、東京都は災害時、一斉帰宅の抑制を推進しています。特に災害発生後の72時間は、人命救助に支障をきたす恐れや、帰宅困難者が多く発生することもあるため、会社で被災した場合もむやみに移動せず待機するよう呼び掛けているのです。そこで会社としては3日分の備蓄を用意することはもちろん、社員にそういった経緯や災害時の対応を周知すると良いでしょう。そうすることで、足りない備蓄を自分で用意しておく、災害時はすぐに帰れないことを家族に伝えておくなど、社員が対応できるようになります。「会社として準備すること」、「社員に周知すること」は社長次第ですぐに行えます。それによって社員各自が備えるようになると、災害時に発生する問題を小さくできるでしょう。

#### 辻直美 (つじ・なおみ)

国際災害レスキューナース。阪神・淡路大震災での経験を機に、災害医療に目覚め、被災地で救命活動、被災者の心のケアに従事。現在はフリーランスのナースとして講演や防災教育をメインに行う。「地震・台風時に動けるガイド 大事な人を護る災害対策」(発売:Gakken) など防災にかかわる著書も多数。

### 今回の防災tips

災害の種類と規模ごとに  
会社の**タイムライン**を作ろう



災害時はパニック状態に陥りやすいもの。そこで用意すべきなのが、災害の種類や規模別に、いつ、誰が、何をするかをまとめた「タイムライン」。自分が何をすべきかが明確になり、冷静になれますし、社員も協力しやすいでしょう。

災害時の自宅や会社は大丈夫？

まずは**身の回りのリスク**を知ろう

これから防災を始める人におすすめなのが無料の防災コンテンツ。10秒で地震のリスクがわかる「地震10秒診断」\*1や、水害リスクマップなどの災害別防災マップが見られる「東京都防災アプリ」\*2など試してみてください。



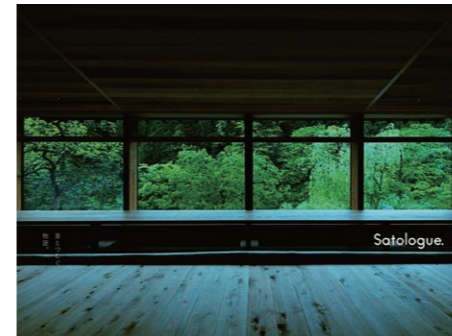
\*1: 現在地や郵便番号を入力するだけで、地震のリスクやライフラインが復旧するまでの日数がわかるデジタルコンテンツ。一般社団法人日本損害保険協会と国立研究開発法人防災科学技術研究所が公開。 \*2: 東京都公式の防災アプリ。複数の防災マップの確認や、防災クイズやチェックリストなど防災に役立つ多くのコンテンツが利用可能。

障壁を突破した瞬間

## 社員とともに原点に立ち返り、経営理念を言語化

### 計画起点から人起点へ 新たな地方創生の姿とは

りで、その理念を社員たちにきちんと示してこなかったと反省しました」  
嶋田さんはそこで全社合宿を行い、社員たちの言葉に耳を傾けた。また自分自身も原点に立ち返った。自分はなぜこの仕事を選び、そもそも何がしたくて会社を作ったのか。そう考えると、答えが見えてきた。「ふるさと」の夢を、かたちに。すべての人がふるさとに誇りを持ち、ふるさとで活躍する社会を作る。それがさとの存在意義であり、一丸となって目指すべきことだ。社員とともにそう結論づけたとき、迷いが消えました」



無人駅とその周辺の地域資源を編集し、地域全体をひとつのホテルに見立てたプロジェクト「沿線まるごとホテル」。その活動拠点である「Satologue (さとログ)」が2024年3月に開業。

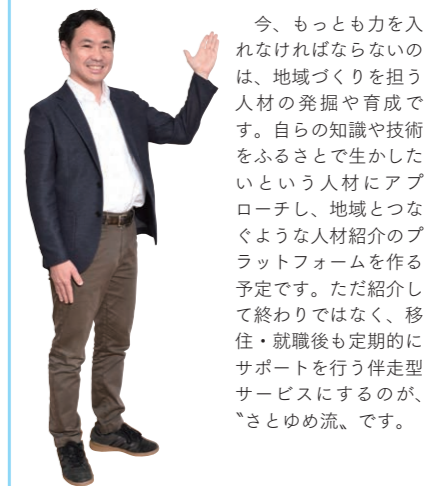
こうして2019年にミッション、ビジョン、バリューを言語化してから、さとゆめはいわゆるコンサルティング会社の枠を超えて活動し、それがさらなる結果を生んできた。経営としては極めて順調といえる。しかし嶋田さんは、そんな追い風の中にあって、強い危機感を持っていた。「その頃から、私たちが関わっているあらゆる地域で、仕事はある人がいない、という状況が起きていました。これまでの事業プロセスは、計画を立て、資金を集め、事業を立ち上げ、最後に人材を募る。計画起点\*でしたが、今後はそれでは立ちゆかなくなると感じました」  
そこで2021年、さとゆめは「第2創業期」として事業の在り方を根



多摩川源流の小菅村に位置する分散型ホテル「NIPPONIA 小菅 源流の村」。「700人の村がひとつのホテルに」をコンセプトに、地域全体をひとつの宿に見立てている。

底から変える方向に舵を切った。「想いやビジョンを持った人材を発掘・育成し、その人とともに計画を立て、資金を集め、事業を立ち上げ、

### 株式会社さとゆめの これからの展開



今、もっとも力を入れなければならないのは、地域づくりを担う人材の発掘や育成です。自らの知識や技術をふるさとで生かしたいという人材にアプローチし、地域とつながりやすい人材紹介のプラットフォームを作る予定です。ただ紹介して終わりではなく、移住・就職後も定期的にサポートを行う伴走型サービスにするのが、「さとゆめ流」です。

運営する人起点\*へと転換しました。創業から大切にしてきた姿勢である、伴走型コンサルティングは守りつつ、人起点で地域に事業を生み出す会社へ。それが新たな目標であり、そのため会社のあるゆるる仕組みをアップデートしている最中です」  
さとゆめが直面する課題は、まさに日本の地方創生の課題といっている。その突破口を示せたときのインパクトは大きい。「それはあくまで結果でしかない」と嶋田さんは笑う。「人には故郷が必要だ。そして故郷への誇りが、地域を変革する熱源となります。その熱い想いを持った人々に、手助けや機会を提供していく。自分たちがやるべきことは明確で、これからも迷いなく進んでいきます」

職場で食べたい

## おやつ&ごはん

リフレッシュ・会話のきっかけに最適な  
おやつやテイクアウトメニューをご紹介します！



**フルーツキューブ 300円 (税込)**  
レーズンやリンゴ、オレンジなどラム酒とブランデーに漬け込んだフルーツがたくさん入った風味が豊かな立方体のパン。ふわふわのパンの生地はほんのり甘いフルーツとの相性抜群。



**明太マドンナ 340円 (税込)**  
明太バターマヨネーズが端から端までたっぷり挟まった人気No.1商品。パンはよりサクッとして、中はジューシーになるのでリベイクするのがおすすめ。



**カメロンパン 150円 (税込)**  
亀の形をしたカメロンパンはふんわりとした食感で食べやすい。かわいい見た目も人気のため、午前中には売り切れることも。

一つひとつ表情が違うのが  
かわいい看板商品

## 地元民に長く愛される 町のパン屋の名物パン

焼きそば・目玉焼き・パンの  
バランスが抜群！



**お好み焼きパン 300円 (税込)**  
バリバリ食感の焼きそばにちょうどいい火の通り方をした目玉焼きが乗ったインパクト大の一品。優しい酸味のマヨネーズと焼きそばに絡んだ甘めのソースとの味わいは、まさにお好み焼き。

**かめぱん 立花店**  
かめぱん たちばなてん  
小村井  
☎03-3619-2223 📍東京都墨田区立花2-1-11 🕒7:00~18:30 (土・日・祝日は~18:00) 🍷火曜 🍷東武亀戸線 小村井駅出口から徒歩5分

**マザーグース**  
マザーグース  
江古田  
☎03-3994-2121 📍東京都練馬区栄町29-2 🕒8:00~20:00 🍷8月お盆・年末年始 🍷西武池袋線 江古田駅北口から徒歩4分

注) 上記では、通常時の営業時間、定休日のみを表示しています。営業時間短縮および年末年始や夏期などの臨時休業日につきましては、各店舗にお問い合わせください。



Q 好きな言葉は？

A 「とりあえず、なんとなく、ひたすら」という3つの言葉は、自分のスタイルをよく表していると思います。とりあえずやってみる、なんとなく試してみる、ひたすら続ける。その積み重ねで今があります。

Q モチベーションを上げる方法は？

A 私のモチベーションが下がりやすいのは、目的からの逆算思考で「～しなければならぬ」という考えになったとき。そういうときは、目の前のやりたいことを重視して行動するように心がけています。

Q 趣味を教えてください

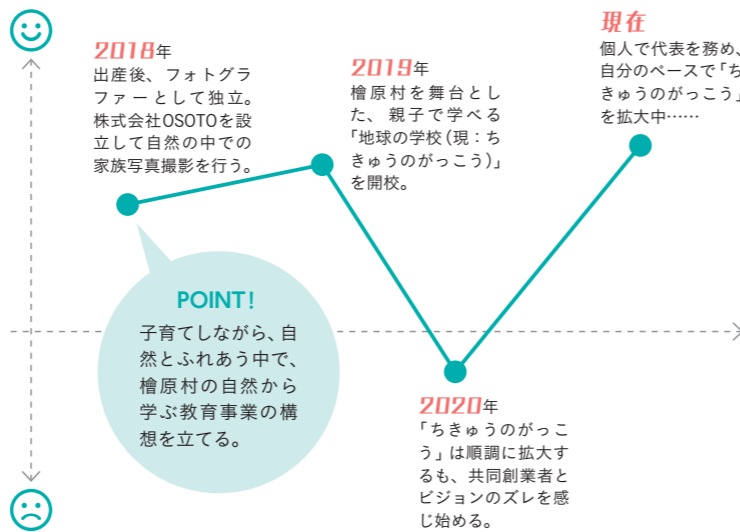
A サーフィンが20代のころからやっている、夫婦共通の趣味です。日常生活から離れて大海原に浮かび、波を待っている時間はとても豊かで、心が癒されますし、自然と自分が調和する感覚があります。



Profile わたなべ ゆか

1982年生まれ。24歳で結婚、パートの傍ら勉強を続け29歳で行政書士の資格を取得。監査法人で法務コンサルタントを手掛ける。出産を機に退職後、フォトグラファーだった祖父の元で学んだカメラの腕を活かし独立。その後、株式会社OSOTOを設立。2020年、家族で檜原村に移住。

渡部さんのモチベーショングラフ



**檜原村の自然に一目惚れ 移住してきた村人との絆**

「初めて家族で訪れたその日から、豊かで美しい自然の虜になりました。何か始めるなら絶対この場所がいい。そう思いました」

そして実際に、渡部さんは家族とともに檜原村へ移住することになる。

とはいえ最初から現在のような事業ができたわけではない。まずは村人たちとのつながりを作り、フィールドを探る必要があった。

日々、村人たちと会話し、イベントがあれば参加する。そんな中で出会ったのが、檜原村で約20年間活躍している林業会社「東京チェーンソーズ」だった。所有する森のうち、産業林としては使えない遊休資産を借りられる運びとなった。

またカリキュラムについては、教育者であり探求学習(自ら問いを立て、答え、主体的に学ぶ学

習)の第一人者、市川力さんの協力のもとで、磨き上げていった。

こうして事業は日々、前進していたが、会社としての売上はなかなか伸びなかったという。

「ビジネスという観点だと、教育分野は芽が出るまで時間がかかります。最初から利益を求めてしまえば、教育ビジネスはできません。地道に積み上げていった結果、いつの間にか利益が出るようになるものだと思います」

コロナ禍を越え、ようやく近年は少しずつ利益が上がるようになってきた。ただ、渡部さんの最終目標は、儲けることではない。

「活動を通じ、自然に親しみ、学び、守ろうと思う人たちが少しでも増えてほしいです。同じ志を持つ仲間が、全国各地に「ちきゅうのがっこう」を作り、輪が広がっていったなら、これほどうれしいことはありません」

vol.2 TOKYO Startup History

現在活躍しているスタートアップ企業の経営者に、起業から現在までを振り返っていただき、そこで学んだことや大事にしていたことをうかがいました。



教育事業は、積み重ね 利益は後からついてくる

株式会社OSOTO  
代表取締役社長CEO & Co-Founder  
渡部 由佳氏

Company Profile

株式会社OSOTO  
創業:2018年  
事業内容:教育旅行業、写真・動画撮影業  
URL:https://osoto.co.jp/

親子で泥にまみれ 自然と親しみ、学ぶ

東京都の西のほうに位置し、本州では都内唯一の村である檜原村。面積の93%が森で、急峻な山々に囲まれ、およそ都内とは思えぬ大自然が広がる。

そんな秘境で事業を営んでいるのが、株式会社OSOTOだ。親子向けの自然体験をメインとした「ちきゅうのがっこうプロジェクト」など、檜原村の自然に親しみ、自然から学ぶプロジェクトを手掛けている。

「カリキュラムは四季ごとに組み立てています。たとえば春から夏にかけては、森林内に道をつくるプロジェクトや、溪流のごみを除去する環境整備を行いました。いずれも林業や自然環境整備のプロと一緒に作業し、活動が森や川の環境により作用をもたらす「環境再生」を一つのテーマとしています。親子で泥まみれになりながら自然と親しみ、環境について体感的に学ぶという経験は、都会では得難いものだと思います」

創業者の渡部さんは、自らもキャンプやサーフィンなどを通じて、ずっと自然に親しんできた。もともと行政書士として監査法人に勤め、余暇に自然の中に出かける生活だったが、妊娠・出産が一つの転機となった。

「日本社会では、女性の子育てに入るとそれまでのキャリアがリセットされる風潮がまだまだあります。ならいっそ、会社には戻らず自分で何かを始めたほうが時間の自由も利くし、いいかなと

思ったのが、起業のきっかけでした」

そこで腕に覚えのあったカメラの技術を生かし、個人事業主のフォトグラファーとして独立。最初は「スタジオでの作り込んだ写真より、自然の中で家族写真を撮りたい」という思いから森や川で撮影を行うようになった。そしてその延長で、自然体験のイベントと撮影をセットにした事業ができなかつたかと考え、2018年7月に株式会社OSOTOを設立した。

「当時のテーマは、わが子にさせたい自然体験とはどんなものだろう、ということでした。自然から学んで親子で成長でき、参加すれば心から笑いあえるようなプロジェクトが何かできないか模索していました」

そんな中で、檜原村に足を運んだことで、事業が一気に動き始めた。



(左)2023年から「ちきゅうのがっこう」の活動拠点となった築450年の歴史ある古民家「紬」。(右)この日の取材はいろいろと困って行った。

T.G.  
Info

# ステップアップセミナー 創業編 開催のお知らせ

定員  
50名  
(申込先着順)

参加  
無料

創業に興味をお持ちの方や、創業後の経営課題解決のヒントを得たい方を対象にセミナーを開催いたします。今回は“女性が選ぶNo.1ファッションサブスク・レンタル企業”株式会社エアークローゼット代表取締役社長兼CEOの天沼聡氏による講演のほか、中小企業診断士を講師に招き、ウェブプロモーションやトップセールスなど創業時に役立つ知識を学べる内容となっています。また、トークセッションや参加者同士の交流会もあります。当協会HPよりぜひお申込みください。

**日時** 令和6年 **10月19日**(土) 12:30 ~ 17:00(※12:00 ~開場)

**会場** Startup Hub Tokyo 丸の内  
(千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル低層棟 1F)

**申込期限** 令和6年10月4日(金) 事前申込制  
※定員に達した場合、期限前に申込受付を終了させていただく場合がございます。

## 1 日本初の普段着ファッションレンタルサービス 「エアークローゼット」の創業秘話とこれから



株式会社エアークローゼット  
代表取締役社長兼CEO 天沼 聡氏



## 2 創業に有効なウェブプロモーション ～HP、ブログ、SNSの経営活用法～

株式会社スプラム  
代表取締役  
中小企業診断士 竹内 幸次氏



## 3 トップセールス入門セミナー

株式会社キャラウィット  
代表取締役  
中小企業診断士 上岡 実弥子氏



## 4 保証協会創業ミニセミナー 東京信用保証協会の職員が当協会の創業支援についてご案内します

## 5 トークセッション ～当協会の創業事例動画出演者による創業後のストーリー～

エフ・ブルーム株式会社  
代表取締役  
中小企業診断士 大江 栄氏



ゴードカフェ株式会社  
代表取締役  
小田 隆之氏



株式会社 chibito  
代表取締役/プロデューサー  
コピーライター 阿部 裕子氏



## 6 交流会 トークセッション出演者も参加して、仲間作りを応援します

お申込みはこちらから

東京信用保証協会 ステップアップセミナー

検索

お問い合わせ 東京信用保証協会 経営支援課 セミナー事務局 TEL: 03-6264-1831



### ● Editor's Note

その土地を実際に訪れ、体験し、地元のものにいただくことが、大切なふるさとの暮らしを守るにつながっている。地域活性化のため、私たちにできることが身近にたくさんあることに気づくことができました。

株式会社OSOTOの取材は、懐かしさを感じるような古民家で、焚火の音に癒されながら行いました。非日常的な檜原村の大自然は、ふとした気づきや探求心が自然と湧いてくるように感じました。(S)

### ＼まるガモ応援隊／



山奥の古民家の縁側にたたずむるガモ。自然に囲まれて癒される……。

ご意見・ご感想は、以下までお寄せください。  
東京信用保証協会 企画部広報課  
〒104-0061 東京都中央区銀座6-17-1  
銀座6丁目-SQUARE 13階  
TEL: 03-6264-1695  
HP: <https://www.cgc-tokyo.or.jp/>

